

第2回京田辺市緑の基本計画審議委員会 会議概要

1 開会

2 議事

- (1) 緑の現況調査の進捗状況について
- (2) 市民アンケートについて
- (3) 今後のスケジュールについて

事務局：(1) (2)について説明

委 員：アンケートの居住地域の分け方について、なぜこのようにしたのか。

事務局：まずは旧村と市街地に分けた。さらに市街地の中でも、既に50年
以上経過しているところと最近の市街地とで分けた。ただ、例えば
大住地域については、旧村と市街地が含まれるが、住所を小字まで
集計すると非常にデータ量が多くなり解析が煩雑になる。そこで基
本は旧村と新しいまち、そして新しい中でも割と新しいまちと50
年ぐらい経過しているまち、山間部、というような分け方に、北
部・中部・南部の区分を加えたというかたちにした。

委 員：アンケート調査の公園の箇所について、設問の順番は適切か。問
18の詳細が問15～17ではないかと考え、問18の次に問15～17を
聞いた方がよいのではないか。

事務局：今回設問をする中で、市が直接管理している大きい公園と、自治会
に管理していただいている街区公園を小さい公園として分けて考
えている。問15で大きい公園、問16は街区公園、問17、18で公園
全般について聞くという思いがあり、順番としてはこのような形に
している。

委 員：もう少しアンケートが答えやすいように京田辺市の現状はこうだ
といいうイメージを出せるような資料を添付したほうがよいのではないか
か。例えば、天理山古墳についても、実際にどの程度のものかはつき
りわからない。そのようなものを、もう少し具体的に伝えてもら
ったら、アンケートをするときに何かの参考になるのではないかと
思う。

事務局：様々な情報を追加したいところであるが、文章が多いとアンケート
に答える前に拒否反応が出ることも考えられる。今のご意見は、本
編を作成する際に、ぜひ織り込んでいきたい。

委員長：インターネット、ホームページ上で掲載するなら、資料として渡すのではなく、そのリンクだけでもアンケートにのせててもよいのではないかと思うので検討いただきたい。

委 員：本日バスでみてまわった手原川が非常にきれいだなと思ったが、あれはボランティアの3人が手原川の中の木を切ってくれた。住民の方も非常に喜んでいるし、それが緑の多いまちの根幹だと思った。

全体に言えることであるが、生垣設置奨励補助金制度についても、知らない人が多い。もっとPRが必要ではないか。例えば、「すてきなまちなみ支援事業」についても積極的にPRしてもらうことがまずは大事だと思った。

事務局：緑化推進事業についてはホームページに載せており、広報でPRも行っているが、ことあるごとにPRしていきたい。

委 員：最初に現況調査をしてその情報を市民に伝えてから、アンケート調査をすればどうかと以前発言をしたが、我々市民は知らないことがたくさんある。従って、現在の実施している事業をどのように上手く入れ込むのか工夫をし、ホームページでも機会あるごとに、現況の報告をすることをお願いする。

行政の中で今後こういうところを具体的に対応したい、対応しなければならないことについて、今のところ何も提示されていない。空地、荒れ地、生産緑地で荒れたところをどうするのか等、行政がまず考えなければならない場所があるはずである。そのあたりをどのようにその対象地を絞っていくのか、今後現況調査の中でも、行政の中の方向を見出すためにも、ぜひそのようなところの細かいところを市民のみなさんと同じ目線で見つけていただきたい、それをアンケートと同時に次の方向に持っていくように、ぜひお願いしたい。

J R京田辺駅と近鉄新田辺駅の間にある通路は、現在の形でよいのか。今から何年前に作られたのか。舗装をやり替えたら終わりというわけではないはずである。中央に支障物があり、それを取り除いてもよいのではないか、といった意見があったのか、なかったのかが重要である。そういう風致をどうするのか、行政の守備範囲として色々な制度も含めて、少し整理をしていただきたい。三山木駅前広場も広い空間の真ん中に作られているが、その他の空地を利用する気があるのかどうか、あのような空間は貴重であるので、そこを再整備するのか等、考えて進めて欲しい。

事務局：駅前広場等の活用について、検討していきたい。

委 員：大きな公園は作る意思はあるか。市がそのことを頑張る気はあるのか。検討していただきたい。

委員長：現況調査についてふと考えたが、若い世代にアンケートを答えるもらうために、短い動画を作成してはどうか。今回の内容を短く編集して動画を作り、YouTube 等で見せるとよい。

委 員：本日の市内見学で感じたことであるが、自然豊かな野外活動センターや森林の近くにお住まいの市民の方々はどの程度緑に普段から触れておられるのかな、と思った。

野外活動センターは手を加えていない自然に触れられると思うが、あれは甘南備山でひとつのルートができあがっているということでおなじみのアンケートにはないのか。甘南備山でも様々なルート、例えば登山道もあり、途中にトイレもあり、手入れもされている。それらはひとつのルートとしてできあがっているということで今回のアンケートに甘南備山の話がないのか。

野外活動センターから甘南備山のルートもあると聞いたが、そのようなことはどれだけの方が知っているのか。お金をかけるばかりではなく、お金をかけなくとも自然の緑に触れていただけるので、それらをアンケートや計画にいれることはどうか。

事務局：今回、甘南備山についてはアンケートにいれていないが、写真コンテストでも甘南備山自体の写真はなかった。日頃薪甘南備山保存会という団体があり、維持管理をしている。モデルフォレスト事業で企業が入り守り育てる活動もしている。それらは紹介したいと考えている。

野外活動センターは市の施設であり、今後民間の力を借りながら一緒にやっていくことを検討中である。現在進行形で検討しているため、その話が具体的に決まれば計画に入れていいかと考える。

委員長：アンケートに、公園にしても山にしても、どの程度活用しているのか、頻度の質問がない。それを追加してもいいのではないか。例えば、年1回、月1回、週1回等、そのような質問があるとより多くの情報が入ってくるのではないか。

事務局：工夫してみたい。

委 員：緑に関する話は、風致地区とも関連する。将来的に風致地区にする構想はあるか。

事務局：現段階では、風致地区の指定までは考えていない。

委 員：将来展望を考えると、そのような検討もすべきではないか。近隣では指定されている所はないが、一度検討されてみても良いかと思う。

委 員：今の話は、将来の方向性を示す話である。風致地区の指定は別として、私もどうしたら緑を守っていけるか考えてみた。都市計画法の

ようなきちんとしたものでなくとも、何か地区計画的なもので押さえていくことが出来るのではないか。地域ごとに押さえていくことが、ひとつの方針でもあるのではないか。ここはこういうような地区であると考えると非常にわかりやすいと思う。農地と市街地を結ぶような一体のところは非常に面白い地域である。そのような地域を扱うため、一体性を持たせた地区を指定するという考え方についても検討いただきたい。

事務局：先程は固い意味で答えたが、また検討させていただきたい。

委員長：アンケートの項目が1つ1つはあるが、全体としてどうやってまとめていくのか、方向性がまだ見られない。キーワード的に考えると、森林・里山というキーワード、歴史・史跡というキーワード、農地というキーワード、あとは住宅街、水辺の散策路等があるが、きっと～区というのではなく、丸でエリアを囲むことはできるのではないか。森林・里山を守るエリア、農地を守るエリア、両方をつなげていくような水辺の散策路や史跡等、歴史・文化のエリアなどで分けていくことで、その中で項目ごとにどうしていくかということを考えて、緑の基本計画でまとめていくのがよいのではないか。京田辺の配置的にも木津川沿いに農地があって、山があって、その間に歴史・文化があって、ちょうど三層になるような形になると思う。全体を通して項目をどう位置付けるのか今から考えて進めていただきたいと思う。

今後アンケートを実施して、結果が出たうえでまた少し方向性が見えてくると思うが、今から位置付けのことも考えながら進めていただきたい。

委員：たとえば観音寺の周辺について、将来的に住宅開発されるかもしれない。そのため今のうちに網をかけておくべきではないか。何かの特別地区の要素をもたせて、網をかけておかないと、守れるものではないと思う。里山を守りましょうと言っていても、言葉だけで終わってしまう。その辺も含めて、何か将来展望をもっている方が良いのではないか。

委員：本日の市内見学で、景観から文化歴史に至るまでとても興味が湧き、京田辺市をもっと緑豊かで伸びしろのある、夢のある街にしていけたらなと思った。森林インストラクターの方に、色々な樹木の緑のことを教えていただいているが、木の名前を知るだけでも山に行ったり時にこの木はあの木だとわかる。山の中で、木を友達と感じられるようなことも言っていただいている。若い世代の人にも、緑の大切さや緑を守り育っていくことをもっと知ってもらえるような活動ができたらいいなと思う。

委 員：街路樹について、管理が難しい中、街路樹の植樹枠で掃除をしていただいているたり、自分が好きな花を植えられたり、そういうことを取り組んでもらうのはありがたいことなので、この計画の中でも触れられたらよいと思った。街路樹の樹高について、電線の問題もあるが、道の広さに対して街路樹の高さや間隔のバランスに気を付けたらいいと思う。

アンケートの説明で写真コンテストの紹介があるが、最優秀賞の写真を載せたらいいのではないか。またはリンクを貼るのもどうか。

事務局：街路樹について、間隔が詰まりすぎていると思っており、間引くことで空間がでて広々と見える気がするので、検討していきたい。

写真コンテストについて、広報11月号で優秀賞以外の佳作も載っている。ホームページにも掲載されているので、優秀作品等はリンクを載せるなど、対応させていただきたい。

委 員：行政にお願いしておきたいのが、今はぼんやりした形でも網を掛けるという話をしたが、その中に人工的なものは行政に大きく関連していく。街路樹や街路樹の剪定もそうである。これまで人工的なものを急いで作ってきた。公園を作ることや、街路樹をどうするか等、すべて考えた上で良いものを作っていてほしい。

事務局：古い街路樹について、長期的な計画にはなると覚悟した上で、この計画の中でそれらを変えていくことも検討してく。人工的な緑についても一定方向性を出していきたいと思う。

事務局：(3) 今後のスケジュールについて説明

委員長：何か意見はあるか。

(一同：意見なし)

3 閉会